

CubeSuite+対応 RXファミリ用リアルタイムOS RI600V4 ご使用上のお願い

RXファミリ用リアルタイムOS RI600V4の使用上の注意事項を連絡します。

- リアルタイムOS用タスクアナライザツールに関する注意事項

1. 該当製品

RXファミリ用リアルタイムOS RI600V4
V1.02.00およびV1.02.01

2. 内容

タスクアナライザツールを「ソフトウェア・トレース・モードで
トレース・チャートを取得」(注) で使用して、カーネルを起動すると
0x00008007番地にロングワード (4バイト) 単位で0が不正に書き込まれます。

注: 統合開発環境CubeSuite+ のRI600V4プロパティパネルで、
タスク・アナライザタブにある設定項目の「トレース・モードの選択」で
選択するモードです。

3. 回避策

3.1 使用するMCUの0x00008007番地が内蔵RAMの場合

以下のいずれかの方法で回避してください。

(1) パッチコードの作成

以下のソースファイルをプロジェクトに追加してください。
その際ソースファイルはライブラリ化せずに、直接アプリケーション
プログラムおよびカーネルライブラリへリンクするようにしてください。

ソースファイル:

```

.SECTION    PRI_KERNEL, CODE
.GLB  __RI_trcSW_init
__RI_trcSW_init:
.GLB  __RI_BUFCB
MOV.L  #__RI_BUFCB, R1
MOV.L  #1, 8[R1]

MOV.L  #0FFFFFFFH, 4[R1]
.GLB  __RI_TRCBUF
MOV.L  #__RI_TRCBUF, [R1]

.GLB  __RIUSR_trcSW_init_tmr
BSR   __RIUSR_trcSW_init_tmr

MOV.L  #__RI_BUFCB, R1
MOV.L  #0, 8[R1]

.GLB  __RI_trcinf_SW
.GLB  __RI_TRCVALIDPTN
MOV.L  #__RI_TRCVALIDPTN, R1
MOV.L  #__RI_trcinf_SW, R2

RTS

.END

```

(2) リンク時のセクション配置

0x8007~0x800A番地には、有効なセクションを配置しないようにしてください。

3.2 使用するMCUの0x00008007番地が内蔵RAMでない場合

タスクアナライザツールを「ソフトウェア・トレース・モードでトレース・チャートを取得」で使用しないでください。

4. 恒久対策

次バージョンで改修予定です。

[免責事項]

過去のニュース内容は発行当時の情報をもとにしており、現時点では変更された情報や無効な情報が含まれている場合があります。ニュース本文中のURLを予告なしに変更または中止することがありますので、あらかじめご承知ください。